

平成二十七年入学選抜試験問題（教育文化学部・地域文化学科）

小論文

推薦入試 I

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、三ページあります。解答用紙は一枚あります。問題は二題あります。二題すべてに解答しなさい。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

次の文章を読み、問に答えなさい。

本文省略

山下祐介著『限界集落の真実——過疎の村は消えるか？』（筑摩書房、二〇一二年）より

問一 傍線部①「そこには必ず人の回帰が仕組まれている」とあるが、なぜ人々は集落に回帰すると考えられるか。著者の主張に即して二百字以内で説明しなさい。

問二 傍線部②について、この部分の著者の主張に対するあなたの考えを六百字以内で説明しなさい。